

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.

「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/kyoudounomori/>

協定企業：株式会社ツムラ様
協定森林：「土佐ツムラの森」
開催場所：越知町
開催日：令和7年6月4日（水）
参加者数：32名（株式会社ツムラ様、農事組合法人ヒューマンライフ土佐様、公益財団法人高知県牧野記念財団様、越知町立越知中学校、越知町教育委員会、越知町、高知県）



令和7年6月4日、株式会社ツムラ様、農事組合法人ヒューマンライフ土佐様、公益財団法人高知県牧野記念財団様、越知町立越知中学校、越知町教育委員会、越知町、高知県による交流活動が行われました。今回は、牧野植物園の職員の方に教えてもらいながら横倉山の植物を観察しました。

<フィールドワークの様子>



牧野富太郎博士が佐川町で採取したことが名前の由来とされる「さかわしいしん」の花が咲いているところも見ることができました。



↑
花びらの枚数を数えて確認している様子です。5枚の花弁のうち、2枚だけ長い特徴のある「ユキノシタ」という植物です。

←葉の形や葉の裏の色、生え方など観察するポイントを教えてもらいました。



生えている木や花の説明を受けた後、生徒の皆さんは写真を撮って記録していました。最後には代表の生徒より、「たくさんの種類の植物を見てよかった。メモして覚えておきたい。」と感想をいただき、フィールドワークは終了しました。今回収集した情報を元に、オリジナルの電子図鑑の作成を進めていく予定です。

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.